

硬筆指定課題 評価の観点

《小5》 大平恵理 書

始めに、姿勢とえんぴつの持ち方を確かめます。
正しく整えて読みやすく書くことが大切です。「止め・はね・はらい、線の長さや方向、あき、折れ、折り返し、曲がり、そり、線と線の接し方と交わり方、一字一字の組み立て方、筆順、筆圧」に気をつけて書きましょう。

手本の文字を見ながら、右のマスに書いてみましょう。

一字一字の外形、文字の大きさや幅、行の中心、配置などを考えて、真っ直ぐ書くようにしましょう。半分の高さで見当をつけ、バランスよく収めるようにします。

説明の記号

- 外形 (Outer shape)
- 注意するところ (Places to pay attention to)
- 同じ広さのあき (Same width gap)
- 広いあき (Wide gap)
- せまいあき (Narrow gap)
- 曲がり (Curve)
- 方向 (Direction)
- 長さ (Length)

①

草葉をつかむ暑き日

②

草葉をつかむ暑き日

※わくの両はじの「・」は1/2の高さを示しています。

小五

氏名は上と下のあきをそろえて、課題の文字より少し小さめに書きます。